



平成30年度 学校だより

緑 柏

長崎県立佐世保南高等学校

No.161 平成30年10月31日発行

発行責任者 下釜 祐保

校長室の窓から

起、承、転、結。

校長 下釜 祐保



秋が深まった。読書の秋とも言われる。文章を読み書きするとき、いつも思い出すのが「起、承、転、結」という言葉である。小学校で教わったこの言葉が印象強い。文章の構成には、他に「序論、本論、結論」という展開もある。能や歌舞伎などの日本の伝統芸能では「序、破、急」という形式があるらしい。

起承転結とは、元来、漢詞の句法である。古典で学ぶ五言絶句や七言絶句がそれである。4コマ漫画もこの典型として紹介されるようだ。

(起) 大阪本町 糸屋の娘

(承) 姉は十六 妹が十四

(転) 諸国諸大名は 弓矢で殺す

(結) 糸屋の娘は 目で殺す

は有名だ。事のてんまつがよく分かって面白い。

専門的に勉強したわけではないが、起承転結で最も重要なのは「転」であると思えてならない。「転」とは、「好転」の転であり、「逆転」の転である。「転」にはドラマがあり、インパクトがある。この「転」こそが、「結」を力強い説得力のあるものにできるかどうか、すなわち文章の良否を握っているように思う。

10月、今年度も折り返して下半期に突入した。来月になると更に秋は深まる。年度の「春夏秋冬」を「起承転結」に例えるなら、「転」に位置する「秋」こそ最も重要だ。

今こそ、この秋こそ、頑張り時だ。

○下村脩先輩がご逝去

本校の前身・旧制佐世保中に入学され、2008年ノーベル化学賞を受賞された、本校の偉大なる先輩下村脩氏が今月19日、亡くなられました。

右の写真は、平成27年11月6日に来校された時の記念写真です。

謹んで、ご冥福をお祈りいたします。



○地域清掃

10月3日(水)、1・2年生で地域清掃を行いました。通学路、日宇川など学校周辺をクラスごとに分かれて活動しました。このような機会に一步校外に出ると、登下校時には目に留まらない地域の姿に気付かされるものです。ゴミの分別時には、生活美化委員や生徒会を中心に丁寧に仕分けをする姿がありました。長年地域の方々に支えられていることへの感謝の気持ちやボランティア活動の大切さを再認識した1日になりました。



小さなゴミも見逃しません。



日宇川もきれいになりました。

○センター100日前集会

10月3日(水)に、3年生を対象に『センター試験100日前集会』を実施しました。今年度は、下釜校長先生に講師をお願いし、「本気の受験生活を通して自分の人生(生き方)を考える」「現役生は最後まで伸びるは本当か」などの内容について、ご自身のこれまでの経験やデータを交えながら、約1時間熱く語っていただきました。生徒たちは、先生の講話から多くのことを学び、新たな決意を固めていました。ここに生徒の感想文の一部を紹介します。

○「タクシーのメーターが、ある日、いきなりあがる日を信じて、諦めず頑張ります。」

(※タクシーのメーターの話については、先月号の緑柏を参照ください)

○「初めて自分で調べて、初めて行きたいと思った学校だから、(中略)全力で第一志望に合格することだけを考えて、1日1日を大切に頑張っていきたいです。」

これからも生徒一人一人の進路実現に向けて、生徒はもちろん頑張りますが、職員も一丸となって、邁進していきたいと思います。



3年生を前に講演する校長先生



西村君の力強い、100日前宣言

○桜が丘特別支援学校との交流学習会に参加

10月5日（金）に、川棚町にある県立桜が丘特別支援学校の生徒と本校の生徒との交流会が行われました。本校からは、家庭部、生徒会役員を中心に参加を募り、17名が参加しました。はじめに、班に分かれ、お互いに自己紹介を行った後、カレー調理班と記念品製作班に分かれて活動を行いました。カレー作りでは、それぞれが役割を担当し、美味しく作ることができました。記念品製作では、アイデアを出し合いながら、素敵な作品ができました。午後は、「ボッチャ」「ゴロ卓球」「バッコ」のゲームで盛り上がり、楽しい時間を過ごしました。帰り際には玄関まで見送りしてもらい、別れを惜しむ両校の生徒であふれ、有意義な交流会となりました。



○創立70周年記念、佐世保南北野球対抗戦



10月13日（土）、上記の対抗戦が開催されました。これは佐世保南高と北高の創立70周年の契機に両校が交流し、お互いをよく理解し合うことを目的に企画されたものです。

当日は爽やかな秋の、絶好の野球日和となり、応援に盛り上がるスタンドと共に熱戦が繰り広げられました。試合結果は2対7で北高に惜敗しましたが、両校の選手達の澁刺としたプレイに大きな歓声が沸く思い出の一日になりました。

応援に駆けつけてくださった、保護者、同窓生外、すべての皆さまにお礼を申し上げます。



○佐南オープンデー・学びシェアプログラム

10月15日（月）から10月23日（火）まで、「佐南オープンデー・学びシェアプログラム」を開催しました。

本校の授業力向上を目的に、教職員が教科の垣根を越えてお互いの授業を見学し合い、授業研究を行う行事ですが、他校の先生方や、中学校・大学の先生方、県教育委員会の先生方にもご覧いただきました。

今後も、魅力ある、生徒に力を付ける授業の研究と実践に努力していきたいと思います。



○創立70周年記念、南北合同芸術鑑賞会

10月17日（水）、創立70周年記念佐世保南高・佐世保北高合同芸術鑑賞会が行われました。今年度は、アルカスSASEBOに、劇団「笑う猫」をお招きして、コメディミュージカル『真夏の夜の夢』を観劇しました。

原作は、シェークスピアの喜劇「A Midsummer Night's Dream」。世界中で400年以上の長きにわたり楽しまれてきたものです。本校と北高・北中の全校生徒が一堂に会し、生の演劇に触れるという貴重な経験となりました。生徒の皆さんにとっては芸術の秋を実感できたことと思います。

これからも両校の交流を活発にし、相互を高め合う良い関係を継続していきたいと感じています。



“ほんもの”に見入る南北両校の生徒たち



コメディな場面

○心に響く人生の達人セミナー

10月29日（月）「心に響く人生の達人セミナー」を開催しました。

本校にゆかりがあり、社会の第一線で活躍されている方からの経験を交えた実社会の厳しさ等の話を通して、21世紀をたくましく生き抜く力を身につけさせるとともに、人生観や倫理観、職業観の醸成に寄与する。

という目的を掲げ、今年度は、長崎大学学長の河野茂先生をお招きし、「18才から備える自分の健康と未来」と題してご講演をいただきました。

河野先生は、本校の第20回卒業生で、長崎大学医学部に進学され、長大医学部教授、医学部長、附属病院長、理事・副学長を歴任され、現在に至っておられます。

本講演の中で、「高い壁に挑戦するには探究する心、地道な努力が必要である」、「心の成長なくして、結果を手にすることは出来ない」、「将来に向けて備えるべき力＝想像力」など、多くのメッセージを後輩に投げかけられました。健康がすべての土台であり、その上に変化に対応する力や想像力、挑戦する力を身につけ、さらに自ら考え、実行に移す行動力が『夢の実現』へと繋がると…。

最後に、新しい時代のスタートラインに立つ南高生に、餞として次の3点を強調して講演を締めくくられました。

- 「学びと勇気ある挑戦」をすることを忘れずに。
- 挑戦しては失敗し、さらにその失敗を糧として、新たな挑戦を続ける勇気を持つことが大切。
- 学生時代は失敗することが推奨される稀有な時間。

講演後の生徒からは「自分の中で、新たな目標ができた」「未来のために変化し続けたい」「まず健康であることが大切だ」など、多くの感想が寄せられました。



後輩への、母校への思いの熱い河野先生

